

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 神姫バス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9083 URL <https://www.shinkibus.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長尾 真
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 濱田 環樹 TEL 079-223-1243
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	22,258	11.3	160	—	173	—	△20	—
2023年3月期第2四半期	20,003	18.1	△203	—	△63	—	△119	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 102百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △163百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△3.32	—
2023年3月期第2四半期	△19.91	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	60,234	44,920	74.6
2023年3月期	60,627	44,907	74.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 44,920百万円 2023年3月期 44,907百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	22.50	—	17.50	40.00
2024年3月期	—	17.50	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2023年3月期中間配当金の内訳 普通配当 17円50銭 記念配当 5円00銭（創立95周年記念配当）

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,100	9.5	2,650	12.2	2,770	5.6	1,760	△0.3	292.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	6,172,000株	2023年3月期	6,172,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	146,356株	2023年3月期	151,004株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	6,023,318株	2023年3月期2Q	6,021,422株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行されたことで対面型サービスを中心に個人消費の持ち直しが見られたことや、インバウンドの増加など緩やかな景気回復の動きがみられました。しかしながら、物価上昇や円安の進行、労働需給の急回復による人手不足など先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループにおいてはコロナ禍から回復しつつある旅客輸送、旅行、飲食サービスなどのサービス需要及びインバウンド需要の取込みを中心として、自動車運送事業では神戸・大阪エリアの路線拡充、不動産事業では賃貸物件の取得など各事業において収益基盤強化に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比2,254百万円(11.3%)増の22,258百万円、営業利益は160百万円(前年同期は203百万円の営業損失)、経常利益は173百万円(前年同期は63百万円の経常損失)となりました。また、固定資産除却損を特別損失に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は20百万円(前年同期は119百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次の通りであります。売上高、営業利益はセグメント間の内部売上高又は振替高控除前の金額であります。

① 自動車運送

乗合バス部門においては、三田～大阪・新大阪線を増便するなど注力エリアにおいて利便性向上を図りました。ICカード利用者数は前年同期比6.7%の増加となり、コロナ禍前の水準には戻っていないものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行などの影響により、輸送人員は緩やかに回復しております。高速バス部門においては、一部路線において他社との共同運行を拡大するなど利便性向上に取り組み、淡路島線、三宮～四国線、中国ハイウェイ線(大阪～岡山県津山市)を中心に収益は回復傾向で推移しております。車両管理部門においては、スクールバスなどの運行管理業務を新たに請け負ったことにより増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比507百万円(5.4%)増の9,953百万円、営業損失は662百万円(前年同期は営業損失757百万円)となりました。

② 車両物販・整備

車両物販部門においては、車両整備工場向けの補修部品の出荷が好調に推移したことに加え、大型設備機器の販売や自動車販売台数の増加が増収に寄与しました。整備部門においては、車検整備台数の増加などにより増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比322百万円(7.7%)増の4,489百万円となり、営業利益は前年同期比45百万円(18.7%)増の285百万円となりました。

③ 不動産

賃貸部門においては、新たに賃貸用事業用地を取得したことや、前期に取得したサービス付き高齢者向け住宅などが増収に寄与しました。住宅部門においては、建売住宅の販売戸数や分譲地の販売区画数が増加しました。建設部門においては、ドラッグストアの建設工事を請け負ったことなどにより増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比244百万円(11.3%)増の2,413百万円、営業利益は前年同期比53百万円(9.1%)増の640百万円となりました。

④ レジャーサービス

サービスエリア部門においては、高速道路の交通量増加に伴い来店客数が増加し、土産物の販売やレストランの利用が好調に推移しました。飲食部門においては、7月に酒房灘センタープラザ店を閉店しましたが、前期に出店した「豚小家」2店舗が増収に寄与しました。ツタヤFC部門においては、姫路広峰店でトレーディングカードの販売を開始しましたが、レンタルや書籍販売の減少により減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比263百万円(13.3%)増の2,250百万円、営業利益は27百万円(前年同期は営業損失30百万円)となりました。

⑤ 旅行貸切

旅行部門においては、前期に県民割などを活用したツアー需要が高まったことの影響により一部ツアーで集客数の減少がありましたが、訪日外国人向け周遊ツアーの集客数が増加したことに加え、団体旅行の受注が好調に推移しました。貸切バス部門においては、会社団体からの受注やイベント輸送が増加したことなどにより増収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比723百万円(41.1%)増の2,484百万円となり、営業損失は28百万円(前年同期は営業損失144百万円)となりました。

⑥ その他

経営受託部門においては、新たに三田市都市公園、三木山総合公園・吉川総合公園などの指定管理を獲得したことや、書写山ロープウェイなど既存施設の利用者が増加したことなどにより増収となりました。介護部門においては、ショートステイを廃止したことにより減収となりました。以上の結果、売上高は前年同期比322百万円(17.3%)増の2,181百万円、営業損失は106百万円(前年同期は営業損失104百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ392百万円減少し、60,234百万円となりました。増減の主なものは、受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,367百万円、現金及び預金の減少198百万円、有形固定資産の増加541百万円、仕掛品の増加251百万円などです。

負債は、前連結会計年度末に比べ405百万円減少し、15,314百万円となりました。増減の主なものは、借入金の減少522百万円、未払法人税等の減少476百万円、支払手形及び買掛金の増加235百万円、賞与引当金の増加186百万円などです。

純資産は、その他有価証券評価差額金の増加141百万円、利益剰余金の減少125百万円などにより、前連結会計年度末に比べ13百万円増加の44,920百万円となり、自己資本比率は74.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ198百万円減少し、9,755百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益172百万円、減価償却費781百万円、売上債権の減少額1,367百万円、法人税等の支払額683百万円などにより1,816百万円の収入(前年同期は1,577百万円の収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,279百万円などにより1,357百万円の支出(前年同期は1,790百万円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出522百万円、配当金の支払額105百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出32百万円などにより657百万円の支出(前年同期は564百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月15日に公表いたしました内容を下記の通り修正しております。

自動車運送事業の乗合バス部門において、新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響などにより需要の回復が想定を上回ったことに加え、2023年12月に予定しております運賃改定の効果を見込んでいることにより、前回予想を上回る見込みです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 47,800	百万円 2,210	百万円 2,330	百万円 1,490	百万円 247.45
今回修正予想(B)	49,100	2,650	2,770	1,760	292.20
増減額(B-A)	1,300	440	440	270	—
増減率(%)	2.7	19.9	18.9	18.1	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	44,820	2,362	2,622	1,766	293.30

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,973	9,775
受取手形、売掛金及び契約資産	5,160	3,792
有価証券	20	20
商品及び製品	577	689
仕掛品	90	342
原材料及び貯蔵品	115	141
分譲土地建物	615	526
その他	270	425
貸倒引当金	△34	△33
流動資産合計	16,789	15,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,837	26,805
減価償却累計額	△15,984	△16,220
建物及び構築物（純額）	10,853	10,585
機械装置及び工具器具備品	3,099	3,164
減価償却累計額	△2,475	△2,527
機械装置及び工具器具備品（純額）	624	636
車両運搬具	17,591	17,476
減価償却累計額	△15,975	△16,107
車両運搬具（純額）	1,616	1,368
土地	22,639	23,538
リース資産	533	433
減価償却累計額	△391	△208
リース資産（純額）	142	225
建設仮勘定	341	404
有形固定資産合計	36,218	36,759
無形固定資産	323	285
投資その他の資産		
投資有価証券	3,601	3,721
退職給付に係る資産	1,573	1,603
その他	2,174	2,236
貸倒引当金	△53	△50
投資その他の資産合計	7,296	7,510
固定資産合計	43,838	44,555
資産合計	60,627	60,234

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,273	1,508
1年内返済予定の長期借入金	897	648
リース債務	109	89
未払金	2,689	2,712
未払法人税等	726	249
賞与引当金	1,044	1,230
その他	2,747	2,795
流動負債合計	9,487	9,234
固定負債		
長期借入金	1,881	1,607
リース債務	123	202
役員退職慰労引当金	17	9
関係会社事業損失引当金	13	18
退職給付に係る負債	989	982
その他	3,207	3,258
固定負債合計	6,232	6,079
負債合計	15,720	15,314
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,140	3,140
資本剰余金	2,247	2,249
利益剰余金	38,404	38,279
自己株式	△453	△439
株主資本合計	43,339	43,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,501	1,643
為替換算調整勘定	△12	△16
退職給付に係る調整累計額	79	63
その他の包括利益累計額合計	1,568	1,690
非支配株主持分	0	0
純資産合計	44,907	44,920
負債純資産合計	60,627	60,234

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	20,003	22,258
売上原価	16,678	18,083
売上総利益	3,324	4,174
販売費及び一般管理費	3,528	4,014
営業利益又は営業損失(△)	△203	160
営業外収益		
受取利息	4	4
受取配当金	36	38
助成金収入	123	24
その他	35	40
営業外収益合計	200	108
営業外費用		
支払利息	3	2
持分法による投資損失	18	62
固定資産除却損	8	4
関係会社貸倒引当金繰入額	3	3
関係会社事業損失引当金繰入額	4	5
その他	22	18
営業外費用合計	61	95
経常利益又は経常損失(△)	△63	173
特別利益		
車両等購入補助金	—	100
固定資産売却益	—	37
特別利益合計	—	138
特別損失		
固定資産除却損	—	107
固定資産圧縮損	—	28
減損損失	0	2
特別損失合計	0	138
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△64	172
法人税等	55	192
四半期純損失(△)	△119	△19
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△119	△20

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△119	△19
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	138
退職給付に係る調整額	△25	△16
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
その他の包括利益合計	△44	122
四半期包括利益	△163	102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△163	102
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△64	172
減価償却費	822	781
減損損失	0	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	171	186
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△42	△54
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25	△7
受取利息及び受取配当金	△41	△43
支払利息	3	2
持分法による投資損益(△は益)	18	62
助成金収入	△123	△24
有形固定資産売却損益(△は益)	△3	△38
有形固定資産除却損	1	111
固定資産圧縮損	—	28
売上債権の増減額(△は増加)	974	1,367
棚卸資産の増減額(△は増加)	1	△300
未払金の増減額(△は減少)	△5	25
その他	155	163
小計	1,894	2,434
利息及び配当金の受取額	41	43
利息の支払額	△3	△2
法人税等の支払額	△477	△683
助成金の受取額	123	24
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,577	1,816
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,920	△1,279
有形固定資産の売却による収入	120	126
その他	9	△204
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,790	△1,357
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△419	△522
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△91	△32
配当金の支払額	△105	△105
非支配株主への配当金の支払額	△0	—
その他	52	2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△564	△657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△777	△198
現金及び現金同等物の期首残高	10,968	9,953
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	59	—
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	107	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,358	9,755

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物販・ 整備	不動産	レジャー サービス	旅行貸切	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,337	3,277	1,842	1,986	1,733	18,177	1,825	20,003
セグメント間の内部 売上高又は振替高	107	889	326	—	26	1,350	33	1,384
計	9,445	4,166	2,168	1,986	1,760	19,528	1,859	21,387
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△757	240	587	△30	△144	△104	△104	△209

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、経営受託、索道業、食料品・化粧品等の物品販売、広告代理、Webサービス、農業、介護、保育等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△104
「その他」の区分の損失(△)	△104
セグメント間取引消去	6
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△203

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車運送	車両物販・ 整備	不動産	レジャー サービス	旅行貸切	計		
売上高								
外部顧客への売上高	9,845	3,476	2,096	2,250	2,441	20,110	2,147	22,258
セグメント間の内部 売上高又は振替高	107	1,012	316	—	43	1,479	34	1,513
計	9,953	4,489	2,413	2,250	2,484	21,589	2,181	23,771
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	△662	285	640	27	△28	262	△106	155

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、経営受託、索道業、食料品・化粧品等の物品販売、広告代理、Webサービス、農業、介護、保育等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	262
「その他」の区分の損失(△)	△106
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益計算書の営業利益	160